



2025年4月改訂  
(下線部)

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

“ゴオウ・ビタミンB<sub>1</sub>誘導体配合”  
**カゼワンK錠**

(かぜ薬)

第②類医薬品

**特 徴**

カゼワンK錠は、発熱、頭痛、関節の痛みをやわらげるアセトアミノフェン、鼻水、鼻づまり、くしゃみ等のアレルギー症状に効果のあるクロルフェニラミンマレイン酸塩、せきを鎮めるdl-メチルエフェドリン塩酸塩、たんの排泄を促進するチベピジンヒベンズ酸塩、頭痛をやわらげる無水カフェイン、かぜの発熱時に消耗されやすいビタミンの補給にビタミンB<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>などを配合した飲みやすい錠剤(糖衣錠)タイプのかぜ薬です。

**⚠ 使用上の注意**

**⊗ してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

**1. 次の人は服用しないこと。**

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

**2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと。**

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

**3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある。)**

**4. 服用前後は飲酒しないこと。**

**5. 長期連用しないこと。**

**👤 相談すること**

**1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。**

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 授乳中の人。  
(4) 高齢者。  
(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(6) 次の症状のある人。高熱、排尿困難  
(7) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

**2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。**

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮 膚   | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消化器   | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |

| 関係部位 | 症 状     |
|------|---------|
| 泌尿器  | 排尿困難    |
| その他  | 過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称                                                       | 症 状                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                                          | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブンス・ジョンソン症候群)<br>中毒性表皮壊死融解症<br>急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |

(裏面に続く)

|          |                                                                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 薬剤性過敏症候群 | 皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根等）のはれ等があらわれる。        |
| 肝機能障害    | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                  |
| 間質性肺炎    | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| ぜんそく     | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                  |
| 腎障害      | 発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢、尿量の減少等があらわれる。                    |
| 再生不良性貧血  | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。  |
| 無顆粒球症    | 突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。                                            |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

## 効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に服用してください。

|       |       |            |         |
|-------|-------|------------|---------|
| 年 齢   | 15才以上 | 11才以上15才未満 | 11才未満   |
| 1 回 量 | 2錠    | 1錠         | 服用しないこと |
| 服用回数  | 1日3回  |            |         |

### 【用法・用量に関連する注意】

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 製剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

## 成分・分量 1日量（6錠中）

| 成 分            | 分 量   | 成 分                 | 分 量   |
|----------------|-------|---------------------|-------|
| アセトアミノフェン      | 900mg | クロルフェニラミンマレイン酸塩     | 7.5mg |
| チベジジンヒベンズ酸塩    | 50mg  | dl-メチルエフェドリン塩酸塩     | 40mg  |
| 無水カフェイン        | 100mg | チアミジスルブド（ビタミンB1誘導体） | 10mg  |
| リボフラビン（ビタミンB2） | 3mg   | ゴオウ（牛黄）             | 3mg   |

添加物として、バレイショデンプン、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、アラビアゴム、ポビドン、酸化チタン、白糖、カルナウバロウを含む。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- 配置期限（外箱に記載）を過ぎた製品は服用しないでください。

本品についてのお問い合わせは、下記にお願い申し上げます。  
 至誠堂製薬株式会社 TEL.0745（62）5555  
 受付時間 10：30～15：00（土、日、祝日を除く）  
 お客様相談室へ

製造販売元



**至誠堂製薬株式会社**

〒639-2241 奈良県御所市茅原220-1